

## 広島から世界へ

G7 広島サミットジュニア会議

広島県広島市

2023年3月30日

私たちはフランス、アメリカ、イギリス、ドイツ、日本、イタリア、カナダの G7 各国から集まった 24 人の高校生です。私たちは G7 広島サミットジュニア会議に参加し、議論や解決策を考えることを通して、私たちが直面する国際的な諸課題への理解を深めました。

私たちは、主として「平和」「持続可能性」「多様性」の 3 つのテーマに焦点を当て、これらのテーマに関連した様々な課題があることを認識しながら、その解決策や、私たち若い世代がより良い未来を築くためにどのように貢献できるかを検討しました。

過去から学び、起こったことに関する多様な記憶を保持していくことが不可欠です。私たちは表面上の残酷さは認識していましたが、被爆者の証言は、今日でもなお、個人や地域社会に影響を与え続ける「見えない傷跡」があることを学びました。このような悲劇が決して繰り返されないようにするためにも、広島が多様な歴史とその人類への影響を誰もが真に理解することを確実にする必要があります。このような立場で、被爆者の経験を受け入れることによるのみ、私たちは平和な未来を共に築く方法を真に理解することができるのです。

### 平和グループ

私たち平和グループは、大久野島に行き、旧日本軍の化学兵器製造工場を訪れました。そこで造られた化学兵器の被害者には、製造に携わった工員も含まれ、兵器が中国の人々に対して使われた結果、その地でいまだに脅威を与え続けています。

私たちは、自分たちがどのような被害を受けたかという部分的な歴史上の出来事だけでなく、自分たちがどのように他人を傷つけたか、誰を傷つけたかということも含む集合的な歴史を記憶しなければなりません。

### 持続可能性グループ

私たち持続可能性グループは、西風新都バイオマス発電所と大崎上島カーボンリサイクル研究開発拠点で、環境の持続可能性について学ぶ、洞察に満ちた実りある一日を過ごしました。

ここでは、藻類を利用したバイオ燃料やカーボンリサイクルによる二酸化炭素の再利用といった代替的で再生可能な解決方法への投資、そして地域社会の支援による持続可能性の確保が重要であることを学びました。

### 多様性グループ

私たち多様性グループは、熊野筆の歴史を学び、地元の高中生と書道を体験し、広島大学の留学生と交流し、文化や宗教の多様性について意見を交換し、外国人が地域に溶け込むための東広島市の取組について学び、文化的な視野を広げました。

私たちは、社会における価値観が、文化的・民族的な多様性に限定されがちで、ジェンダーの平等、LGBTQ+ の権利、障がい、世代間の違いといった重要な問題はあまり議論されないことを学びました。私たちの社会においては、多様性についての視野を広げる必要があります。

### 平和グループ

私たちは、それぞれの固有な文化を踏まえて、平和を阻む地球規模の障壁に対処するために手を取り合うことを学ばなければなりません。

### 持続可能性グループ

本成果文書は「小さな」一歩ですが、私たちが力を合わせれば、人類にとって持続可能な飛躍を遂げることができます。

### 多様性グループ

多様性をめぐる議論において、今取り組むべき重要な課題が山積しているため、G7 各国の若者代表として、若者が重要な役割を果たすことを求めます。私たちの視点が未来そのものなのです。

## 平和グループ

### **私たちは認識しています。**

- 私たちは、社会には政治的な分断（右派・左派）があり、対話の欠如ゆえに、互いに耳を傾け、接点を作ることが難しくなり、極端な考え方や社会の分極化を招いていると認識しています。
- 私たちは、社会における紛争につながる先鋭化や暴力の危険性を認識しています。
- 私たちは、国家による暴力や戦争が人類に危険をもたらすことを認識しています。
- 私たちは、核兵器が戦時及び製造・実験のいずれの局面においても脅威であり、広島・長崎で見られるように過去の使用が負の遺産であることを認識しています。
- 私たちは、北東アジアにおける国家間の緊張の高まりと新たな軍拡競争の危険性を認識しています。
- 私たちは、世代間の対話の欠如が効果的な社会の変化と成長を阻害していると認識しています。
- 私たちは、世界中のヒバクシャとその体験に関する無知や誤解があることを認識しています。
- 私たちは、個人の幸福の追求を通じた平和構築を認識しています。
- 私たちは、NGO/NPO 団体の活動に対する支援不足とその資金面でのニーズを認識しています。
- 私たちは、ソーシャルメディアが、社会における暴力と平和の両方を助長するリスクと可能性をはらむものであることを認識しています。
- 私たちは、史跡を保存し、凄惨な歴史の記憶を保持していくことの重要性を認識しています。
- 私たちは、大量虐殺が人類に対する犯罪であり、それが引き起こされないように注意深く警戒する必要性を認識しています。

### **私たちは推奨します。**

- 私たちは、「私たち」、つまり過去の戦時における被害に対して負う集団的な責任と、「安らかに眠ってください。過ちは繰り返させぬから」という碑文に具現化された将来の行動指針としての広島の体験を強調することを推奨します。
- 私たちは、ウクライナとロシアの戦争の解決について私たちが責任の一端を担っており、その目標に向かって努力することを推奨します。
- 私たちは、政治的に意見の異なる人々や政治家が一緒に座って対話し、互いの話を尊重しながら聞くことが重要であると推奨します。
- 私たちは、社会における誤った情報や偽の情報の拡散についてソーシャルメディアが果たす役割に対する警戒を強化し、継続することを推奨し、検閲のリスクにも配慮しつつ、十分なコンテンツの最適化への支援を推奨します。
- 私たちは、批判的思考やソーシャルメディアやニュースにおける虚偽の発言を認識する訓練を増やすための積極的な教育施策を推奨します。
- 私たちは、政治的な分断を越えて、人々を共通の目的のために団結させ、コミュニティ構築を促進できる論点を見つけることを推奨します。
- 私たちは、条約や禁止などの手段により、核軍縮と核兵器廃絶を目指さなければならないと推奨します。
- 私たちは、日本が核兵器禁止条約（TPNW）の交渉に、オブザーバーとしてでも出席または参加することを推奨します。
- 私たちは、政治的な意思決定や社会における議論に若者の考え方や意見を取り入れるためのメカニズムを確立することを推奨します。
- 私たちは、世界中のヒバクシャ（広島・長崎だけでなく、すべての核兵器の被害者）の歴史や、将来、同様の被害が他の人々へ及ぶことを阻止するための努力に関する教育を推奨します。

- 私たちは、核兵器による被害と戦争のリスクを常に思い起こさせる文化的なシンボルを確立し、私たちの社会全体にそのシンボルを広めることを推奨します。
- 私たちは、広島やマンチェスターに見られるような、社会における平和に焦点を当てた文化的なイベントの促進を推奨します。
- 私たちは、社会で平和活動を行っている NGO/NPO への資金援助を推奨します。
- 私たちは、政府が凄惨な事実を伝える史跡の維持とアクセスの提供のために強力な支援を行うよう推奨します。
- 私たちは、特に核兵器保有国における政治的リーダーについてジェンダー平等を達成することを推奨します。

#### **私たちは約束します。**

- 私たちは、広島・長崎への核攻撃とそれらが全人類へ与えた影響に関する情報を共有することを約束します。
- 私たちは、歴史的な記憶の内容や重要性を、将来の世代に確実に伝えていくことを約束します。
- 私たちは、自身の幸福追求を通して、また、社会運動を支援し、そのメッセージを広めるために自分の才能や関心を活かすことを通して、平和を構築していくことを約束します。
- 私たちは、自分たちの不安を表明することを恐れず、自由に意見を述べるとともに、異なる考えや他人の意見を一層受け入れ、それらに対してより寛容になることを約束します。
- 私たちは、現在の政治的な枠組みの下で受け入れられるかどうかにかかわらず、お互いに、そして私たちの同世代と共に、活動し続けることを約束します。
- 私たちは、社会における政治的な枠組みに積極的に参加し、未来を創造していく私たち一人一人の責任を十二分に受け入れることを約束します。
- 私たちは、これらの課題を私たちの子どもたちの世代に引き継がないようにするため、自分たちや将来の世代を脅かす課題に対して、私たち自身が直接対処することを約束します。

## 持続可能性グループ

### **私たちは認識しています。**

- 私たちは、人類の活動が、海面上昇、海洋の酸性化、干ばつや山火事など、自然界に深刻な影響を与える気候変動を引き起こしていることを認識しています。
- 私たちは、早急に対策を講じなければ、温室効果ガスの排出量は、世界の気温上昇を 1.5 度に抑えるという目標を超えてしまうことを認識しています。
- 私たちは、エネルギー源の 80% は化石燃料によるものであり、現在の再生可能エネルギーのシェアでは、その影響を相殺することができないことを認識しています。
- 私たちは、水が世界で一層希少となり、入手に不平等が生じている資源であることを認識しています。
- 私たちは、再生不可能な資源に大きく依存する現在の経済システムが、持続不可能であることを認識しています。
- 私たちは、現在の世界の排出量のままでは、2030 年までにパリ協定の目標を達成することは現実的でないことを認識しています。
- 私たちは、持続可能な消費を可能とする適正な規制が伴えば、デジタル化が、コミュニティを結びつけ、環境負荷を低減するために有効な推進力となり得ることを認識しています。

### **私たちは推奨します。**

- 私たちは、IPCC（気候変動に関する政府間パネル）が提唱する 2030 年までの 45% の排出量削減を達成する可能性のない先進国に対して、経済・貿易面での制裁措置を取ることを推奨します。
- 私たちは、製造過程におけるネガティブ・エミッションの量に関する製品への明記を義務化することを推奨します。
- 私たちは、企業が最終的に再生可能な材料のみに依存するよう、政府がカーボンプライシングを導入する企業にインセンティブを与えることを推奨します。
- 私たちは、計画的陳腐化の規制、消費者としてのハードウェアの修理、文書の電子化などにより、デジタル機器をより持続可能なものにすることを推奨します。
- 私たちは、先進国は気候変動をもたらす自らの行動に責任を持ち、「損失と損害」に関する合意を遵守することにより気候変動の影響を受ける脆弱な国を支援することを推奨します。
- 私たちは、すべての国が河川や湖沼からの安全な水を利用できるように、インダス川水利協定のように、近隣諸国の地理的な特殊性を考慮することを推奨します。
- 私たちは、持続可能な開発目標を達成するために、個人的取組と構造的取組の双方を推奨します。

### **私たちは約束します。**

- 私たちは、プラスチック素材への依存を減らし、代わりに持続可能な素材で作られた再利用可能な製品を重点的に用いることで、プラスチックごみの発生を減らすことを約束します。
- 私たちは、より持続可能な社会の実現に向け、投票や活動を通じた構造的な変革を確実にするため、積極的に行動することを約束します。
- 私たちは、次世代のために資源を温存するよう、衣服や電子機器などの日常生活品について、新しいものを購入する前に修理して使うことを約束します。
- 私たちは、カープーリングや公共交通機関の利用により、温室効果ガスの排出を削減することを約束します。
- 私たちは、赤身肉の消費を減らすことで、私たちのカーボンフットプリントを削減することを約束します。
- 私たちは、環境に配慮した商品を勧め、優先的に購入することで、持続可能性を促進することを約束します。
- 私たちは、G7 Youth の Instagram アカウト (@G7\_Youth\_Sustainability) を通じて、広く一般の人々に、持続可能性について働きかけ、啓発していくことを約束します。

## **多様性グループ**

### **私たちは認識しています。**

- 私たちは、基本的人権が、包摂的な社会にとって基本的かつ不可欠なものと認識しています。とりわけ、私たちは、移民や難民、障がい者、LGBTQ+コミュニティの人々の権利を含む、すべての個人の権利が守られることの重要性を強調したいと思います。
- 私たちは、すべての G7 各国に構造的な人種差別や差別が存在し、それらが直接的、間接的に現れることを認識しています。直接的な人種差別は、多くの場合、人種に基づくプロファイリングや、機会やサービスへのアクセスの制限として現れます。一方、間接的な人種差別は、マイクロアグレッション（無意識の差別）や、偏見、固定観念として現れます。
- 私たちは、ジェンダーの不平等が、すべての G7 諸国が率先して解決すべき問題であると認識しています。私たちは、リプロダクティブ・ライツ、女性に対する暴力、不平等な給与、社会における力の不均衡は、解決しなければならないジェンダーの平等を取り巻く多くの問題のほんの一部に過ぎないことを明言します。

### **私たちは推奨します。**

- 私たちは、世界における平等を促進するため、適切な法的枠組みを改正し、それを実行することで、基本的人権をめぐる問題を解決することを推奨します。さらに、地域社会の様々な人々を巻き込み、理解を促進し、より包摂的な社会を作ることを推奨します。そして、すべての人権を尊重するよう幼少期から啓発することを推奨します。
- 私たちは、認識を広め、目立たない人種差別と過激な人種差別の双方に対処する手段として、ソーシャルメディアを活用し、組織的な人種差別をめぐる問題を解決することを推奨します。また、私たちは、多様性のある地域社会が当たり前になるように、異文化や多様性を理解し、自分自身の固定観念や無意識の偏見を見直すことが重要であると考えます。
- 私たちは、同様の問題が現在そして将来、繰り返し起こることを防ぐため、政策立案者が過去の過ちや、他国の成功/失敗事例に学ぶことにより、ジェンダーの不平等に関する問題を解決することを推奨します。また、全体として、私たちは、若者や少数派の人々が社会に変化をもたらすべく取り組むよう、そうした人々の政治参画を推奨します。

### **私たちは約束します。**

- 私たちは、オープンマインドで、自分の考えをしっかりと持つことを約束します。若い世代として、私たちは自ら学ぶことによって、何が正しく何が間違っているかを明らかにし、変化を引き起こすために社会的なネットワークの活用を検討する必要があります。
- 私たちは、多様性をめぐる問題に関し、私たちの考えを単に広めるだけでなく、年長者の考え方に対抗できるよう、そうした考え方に耳を傾け、理解するため、年長者の世代と日常的に会話を行うこと、また行うよう推奨することを約束します。